

学校だより

川中 TIMES

Trying for your dreams

佐賀市立川副中学校

学校通信 第20号

令和7年1月23日

文責 校長 馬郡直樹

生徒行動目標 その3

「AKTB」のTは？

川中 TIMES 第9号で生徒行動目標「We Love Kawasoe めざせ AKTB!」の「K」について、2年3組の生徒達の取組を紹介しました。

今回は第3弾、「T」→「Time 時間を守り やるべき事を全力で 2分前行動」について、1年生の取組を紹介します。

1年生は3学期の努力目標を「先を見通して行動しよう!」とし、時間を守る学年にしようと1年生全体で意識を高めています。

その取組の一つとして、1月14日(火)～1月30日(木)の朝の時間に、生徒玄関前であいさつ運動を行っています。参加メンバー

は、生活安全委員の1組がBYさん、IRさん、HRさん、MYさん、AHさん、NYさん、2組がMHさん、ENさん、UTさん、TSさん、FTさん、SHさんの12人です。あいさつ運動に参加した1年2組MHさんの感想は「私はもともと登校するのが遅い方だったので、あいさつ運動に間に合うかと心配でしたが、時間を意識して取り組むことができました。この運動をしてよかったです。」でした。先を見越して行動することに対して1年1組YSさんは、「やることが先にわかっていると、それに向けて調整するようになりました。今学期は身だしなみチェックに向け髪を切るタイミングを親と一緒に決めました」と先を見通すことの大切さを感じてくれました。

毎朝寒いですが、川中の生徒は遅れることなく、時間内に登校することができており、感心しています。

写真は配布した通信で御確認ください。

あいさつ運動の様子＝生徒玄関付近

《来年度に向けての校時限の見直しについて》

1月27日(月)から2月21日(金)までを来年度に向けた校時限の見直しに係る試行期間とし、生徒の下校時刻を25分間早めます。目的としては、生徒の学校内外における課外活動等の充実(例 クラブチーム等で活動する生徒の活動の確保)や教職員の時間外勤務の縮減(例 市教育委員会規則の時間外勤務の上限の月45時間以下にする)を図るためです。加えて、職員の勤務時間外における、緊急時以外の来校や電話連絡はお控えいただきますよう、御協力をお願いします。

《大雪・積雪等への対応についてのお願い》

1月10日(金)は積雪のために登校時間を遅らせましたが、保護者の方には適切に対応していただきありがとうございました。このように3学期は、寒波の影響で生徒の登下校時に、積雪や路面凍結の危険性が高まります。学校としてはできるだけ事前に状況を把握し、対応をすることとしています。しかしながら、校区が広いため学校が把握できない場所もあると考えられます。もし、お子様が登下校時に危険を感じた時は、家や学校に引き返すなど、命を守る行動をとるように指導していきますので、ご家庭でも御指導をお願いします。



雪だるま達(生徒作)＝1月10日

《佐賀市教育委員会からの部活動適正化モデル「佐賀モデル」についての説明会実施》

佐賀市教育委員会は、これまでの部活動の枠組みを見直し、子供たちの声や主体性が尊重され、一人一人の個性等に合わせた多様な選択肢の中から、自分で選んで参加する「地域展開」を目指した活動を行っています。

川中 TIMES 17号に掲載しておりました通り、市教委からの説明（12/10開催）の際に実施した生徒へのアンケート調査の集計結果をお知らせします。

※ 「佐賀モデル」とは、現在の学校部活動の質と量を、質（生徒がより主体的に）や適切な量（週8時間程度）で活動し、より良い、文化・スポーツ活動を実現すること

◆生徒へのアンケート集計結果（1,2年生部員全員 N=102）

質問1：部活動において、もし自分たちで決められるとしたら、何を決めたいですか？

	決めたい	一部決めたい	あまり決めたくない	決めたくない
1 キャプテンなどの役割	33.3%	32.4%	24.5%	9.8%
2 練習日数や時間	46.1%	37.3%	14.7%	2.0%
3 練習内容	24.5%	51.0%	17.6%	6.9%
4 休みオフの日	41.2%	33.3%	13.7%	11.8%
5 試合のメンバー	18.6%	42.3%	20.6%	18.6%

質問2：「佐賀モデル」について、理解は深まりましたか。

	より深まった	少し深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった
1 理解は深まったか	38.9%	44.4%	12.5%	4.2%

質問3：「佐賀モデル」について、取り組んでみたいと思いますか。

	ぜひ取り組んでみたい	少し取り組んでみたい	あまり取り組みたくない	全く取り組みたくない
1 取り組みたいか	28.0%	40.2%	20.7%	11.0%

《生徒の肯定的な意見》

「自分たちに足りないところを練習できる」「インターネットなどを使って自分たちで調べたい」「学業との両立がしやすくなる」「自分に合った時間で練習したい」「自分で決めて、より責任感をもつことができる」「作品などの進み具合で調節したい」「予定を合わせたい」「いろいろなスポーツに関わりたい」「チーム力が上がる」

《生徒の否定的な意見》

「たくさん部活をしたい」「大変そうで自分には合っていない」「部活動の時間が少なくなる」「けんかになる可能性がある」「今で納得・満足している」「よい成績が取れない」

アンケート調査結果から、どの項目においても、70%から80%の部員が「自分たちで決めていくこと」について、肯定的な意見を持っていることがわかりました。また70%弱の部員が「佐賀モデル」への取組を肯定的に捉えていました。今後、部活動によっては目標を達成するための計画立案や練習メニューとその活動時間等について、生徒と顧問で議論されていくと思います。その際は、保護者の方からのお子様へアドバイスをお願いします。

また、生徒が今後主体的な活動を行っていくために、佐賀市教育委員会が本校にトップアスリートを派遣して講話が行われる予定です。期日は3月15日（土）で、女子卓球部と男女バスケット部が参加します。保護者の皆様も、是非ご参加ください。トップアスリートは、以下の3つの視点で指導をするということです。

- ①競技専門性に関わらず、あらゆる種目に通ずるパフォーマンス向上
- ②科学的なデータ等に基づいた効果的なトレーニングやケガやバーンアウトのリスク軽減
- ③主体的に取り組むこと（自分で考え、自分で決めて活動すること）の大切さ